

家庭総合

指導目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを目指す。
------	---

教材	教科書：「家庭総合 自立・共生・創造」（東京書籍） 学習書：「家庭総合 自立・共生・創造 学習書」 ネットレポート（一部対象者は郵送レポート）・学習ノート	レポート 面接指導 放送 効果測定・試験	全10回 必要時間数：2時間（※面接指導減免6割の学習者は必要4時間） 全40回（テレビ WEB視聴可） 中間到達度チェック（9月）・年度末試験（1月）
----	---	-------------------------------	---

単位	4単位
評価	レポート提出状況（提出期限）および各回評価、スクーリング出席状況（必要時間数の出席充足）、放送視聴状況、到達度チェックおよび試験結果等を総合的に評価し判定。

月	添削指導（レポート）		面接指導（スクーリング）		放送（NHK高校講座）		オンライン指導		中間到達度チェック 年度末試験	
	回数	提出期限	指導単元・項目	週	指導内容・学習活動等	回	内容	内容	内容	範囲
4				1	①「家庭総合」の学習の概説 ●家庭総合で何を学び、どのような学習活動をしていくのかを知る。特にレポート8回目「被服製作実習報告」・10回目「ホームプロジェクト」の意味、進め方を理解する。 ●放送内容に即したウォーミングアップ（「自立」や「家族」について考える）	1	どうなふうに生きたい？暮らしたい？	リエンション（VOD） ・科目の学習概要の説明		
				3	②「自分らしい人生をつくる1」 ●各ライフステージの特徴と課題を理解する。 ●固定的な性別役割分業意識を見直し、男女が相互に協力して家庭を築き、家族関係をつくる必要性を学ぶ。	2	多様なライフスタイルと「家族」			
5	第1回	(5月20日)	「自分らしい人生をつくる」 ・生涯発達の視点 ・青年期の課題 ・目標を持って生きる ・人生をつくる ・家族、家庭を見つめる ・これからの家庭生活と社会	1	③「自分らしい人生をつくる2」 ●家族・家庭に関する基礎的な法律を学習し、現在の動きを知る。 ●家事労働・職業労働について知り、ワークライフバランスについて考える。	4	人生のパートナーと生きる			
				3	④「子どもと共に育つ1」 ●出産前後の健康管理と子どもの発達の様子および発達段階を知る。※「保健」との関連 ●親・家族や周囲の人々の関わり方の大切さを学ぶ。	5	女性の仕事？男性の仕事？			
6				1	⑤「子どもと共に育つ2」 ●遊び、基本的な生活習慣の形成、食事、健康管理について学ぶ。※「保健」との関連 ●子どもとの触れ合いを通して、愛着の形成と親としての成長を理解する。	6	受け継がれる命			
	第2回	(6月20日)	「子どもと共に育つ1」 ・命を育む ・子どもの育つ力を知る ・親として共に育つ	3	⑥「子どもと共に育つ3」 ●子どもを取り巻く社会変化の現状について理解し、考える。 ●児童福祉の理念を理解し、子育て支援の現状を学ぶ。	7	子どものチカラ			
7				1	⑦「高齢社会を生きる1」 ●高齢社会の現状と課題を理解する。 ●高齢期の心身の変化や特徴、個人差が大きいことを理解する。	8	どう子どもと関わる？			
	第3回	(7月20日)	「子どもと共に育つ2」 ・子どもとの触れ合いから学ぶ ・これからの保育環境 「高齢社会を生きる1」 ・高齢期を理解する ・高齢者の心得の特徴 ・高齢者を支える	2	⑧「高齢社会を生きる2」 ●高校講座13回「高齢者を支える」などを活用しながら高齢者を支援する方法を具体的に学ぶ。 ●高齢者に関する福祉について学び、高齢者を支える制度と課題を考える。※「公共」「政治経済」との関連	9	子どもを育てるのは誰！？			
				3		10	どう防ぐ？児童虐待			
				4		11	多様な性を生きる			
				1		12	高齢者との共生			
				2		13	高齢者を支える			
				3		14	“高齢社会”いつかは自分も…			
				4		15	支え合って生きていこう			
						16	地域と生きる			

			<p>⑨「共に生き、共に支える1」</p> <p>1 ●一生を通した福祉や社会的支援の必要性を知る。</p> <p>2 ●多様な人々のニーズ、ノーマライゼーションの理念を理解し、ユニバーサルデザインを具体的に考える。</p>			
8	第4回 (8月30日)	<p>「高齢社会を生きる2」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからの高齢社会 「共に生き、共に支える」 ・私たちの生活と福祉 ・社会保障の考え方 ・共に生きる <p>「経済生活を営む1」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業生活を設計する 	<p>⑩「共に生き、共に支える2」</p> <p>3 ●社会保障制度の理念と内容を学ぶ。※「公共」「政治経済」との関連</p> <p>4 ●地域の防災力を高める意義と方法を考える。</p>		前半の振り返り動画配信	
			<p>⑪「経済生活を営む1」</p> <p>1 ●高校卒業後について、経済的自立と職業について主体的に考える必要性を理解する。</p> <p>2 ●キャッシュレス社会のメリット・デメリットを考え、契約や消費者信用、多重債務問題などを学習し、消費者として適切な判断ができるようにする。</p>	17 災害に備える 18 働くってどういうこと？		
9	第5回 (9月30日)	<p>「経済生活を営む2」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画的に使う ・国民経済・国際経済と家庭の経済生活 ・現代の消費社会 ・消費者の権利と責任 ・これからの消費生活と環境 	<p>⑫「経済生活を営む2」</p> <p>3 ●消費者基本法を通して、消費者には権利と責任があることを理解する。</p> <p>4 ●大量消費から環境負荷の少ないライフスタイルへの転換を考え、持続可能な生活ができるようにする。</p> <p>●消費行動における自分の意思決定の重要性とそのプロセスを理解し、行動できるようにする。</p>	19 大切なお金 どう活かす？ 20 その買い物、大丈夫？ 21 自分の消費で社会を変える	中間到達度チェック (レポート第1回～3回)	
			<p>⑬「食生活をつくる1」</p> <p>1 ●日常生活を振り返り、食生活の変化や課題について理解する。</p> <p>2 ●日常的な食品の栄養的特質や調理上の性質について科学的に理解する。</p>	22 環境のためにできること 23 自分のからだをつくる		
10			<p>⑭「食生活をつくる2」</p> <p>3 ●日本人の食事摂取基準や食品群別摂取量の目安を知り、自分や家族に当てはめる。</p> <p>4 ●食品の選択や調理の際の安全に関する必要事項を知る。</p>	24 からだは食べものでできている 25 日本の食と世界の食		
	第6回 (11月5日)	<p>「食生活をつくる1」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食生活の課題について考える ・食事と栄養・食品 ・食生活の安全と衛生 	<p>⑮「食生活をつくる3」</p> <p>1 ●食生活の自立に必要な基本的な調理技術を科学的な視点から学び、日常食を作れるようになる。(可能な調理実習) ※「科学と人間生活」との関連</p> <p>2</p>	26 めざせ！理想の献立づくり 27 自分で料理をしてみたら？		
11	第7回 (11月30日)	<p>「食生活をつくる2」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯の健康を見通した食事計画 ・調理の基礎 ・食生活の文化を知恵 ・これからの食生活 	<p>⑯「食生活をつくる4」</p> <p>3 ●日本や地域の食文化を見直し、食文化の継承について考える。</p> <p>4 ●食料生産や食料問題、食の安全性など課題について考える。</p>	28 食べることに潜む危険 29 持続可能な食生活をめざして		
			<p>⑰「衣生活をつくる1」</p> <p>1 ●被服製作の基本的事項を確認し、手縫いで製作ができる。(可能な範囲で製作実習)</p> <p>2</p>	30 服を着るのはなぜ？ 31 服の素材いろいろ	後半の振り返り動画配信	
12	第8回 (12月30日)	<p>「衣生活をつくる1」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被服の役割を考える ・被服を入手する ・被服を管理する ・被服を作る 	<p>⑱「衣生活をつくる2」</p> <p>3 ●被服のさまざまな役割を整理する。</p> <p>●被服材料の特徴を理解し、組成表示・取り扱い絵表示・サイズ表示などの意味を知る。</p> <p>4 ●汚れ落ちの仕組みを理解し、被服に適した洗濯や保管方法を知る。※「科学と人間生活との関連」</p> <p>●平面構成と立体構成の違いを知る。</p>	32 衣服はどうやって作る？ 33 洗濯名人になろう！		
			<p>⑲「衣生活をつくる3」</p> <p>1 ●布を使った伝統的な生活の工夫を知り、現代に生かす。</p> <p>2 ●生涯を通じて健康で安全な衣生活が営めるようになる。</p>	34 和服の伝統とこれから		年度末試験 (レポート第4回～6回)

1			<p>⑳「住生活をつくる1」</p> <p>●住居の機能を考える。</p> <p>3 ●平面図の基礎知識を習得し、間取りや動線について理解する。</p> <p>4 ●ライフステージに合った住居を考える。</p>	<p>35 どんな家に住みたい！？</p> <p>36 安全で健康に暮らすには？</p>		<p>年度末追試験 後期生年度末試験 後期生年度末追試験 (レポート第4回～6回)</p>
2	第9回 (2月5日)	<p>「衣生活をつくる2」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣生活の文化と知恵 ・これからの衣生活 <p>「住生活をつくる」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住生活について考える ・住生活の計画と選択 ・住生活の文化と知恵 ・これからの住生活 	<p>㉑「住生活をつくる2」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●室内外の環境に着目し、安全性・快適性などを考慮する必要性を理解する。 ●バリアフリーの考え方を理解する。 ●住環境における地域社会とのつながりの重要性を理解し、持続可能な住生活とは何か考える。 <p>1</p> <p>2</p>	<p>37 これからの住生活</p> <p>38 住みやすいまちにしたい！</p>		
	第10回 (2月25日)	<p>「生活を設計する」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯を見通す ・ホームプロジェクト 	<p>㉒「生活を設計する」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●今までの学習を踏まえ、キャリアの視点から生涯の生活設計に必要な要素をまとめる。 ●これまでの学習を踏まえて、自分の目指すライフスタイルと考え、高校卒業後の生活設計を立てる。 <p>3</p> <p>4</p>	<p>39 明るい未来をつくるには？</p> <p>40 自分で選び創る！これからの人生</p>		
3			1			
			2			
			3			
			4			